

地域の力で防災力向上を

—地域の地場産業“万古焼き”「土鍋」を活用した防災力向上の取り組みについて—

M D P C ・ S B



みえ防災コーディネーター・三酒フロック

フランチ目的とポイント

- A. 学校教育の中で『つくる・食べる』楽しさを通して、防災を体験的に学習する。

- B. 災害のイメージや減災への創造力を培い、『自分を守る力・生きる力・助け合う力』を身につけ防災の担い手を育成、拡げる。

『たきだしくん』フロン概要

- A. 小学生を対象に、地元四日市の特産品「万古焼・土なべ」を活用し、防災学習90分の炊き出し体験学習を保護者を交えて実施する。
- B. 子ども達デザイン・絵付け「土なべ」使用、「水加減・火加減」という先祖の知恵を伝承する。
- C. 米の浸し時間、蒸らし時間利用、映像・クイズなどで災害を知り、備えの重要性を学ぶ防災学習。
- D. 子ども達の体験を家庭、地域で話し合ってもらい防災力向上寄与に期待、育成する。

期待される効果・おすすめポイント

- A. 子供たちの参加により、広く地域防災コミュニティーづくりに期待できる。
- B. 小さな「土なべ」を使用することで、災害時に隣近所、小さな単位で「食」を確保協力する防災コミュニティーづくりにつながる。
- C. 小さな単位でつくることで、アレルギー食や病人食、高齢者対応など、災害時要支援者対策につながる。

年間活動実態・実績

- ◎ まず、地元四日市市内、公立小学校(40校)対象に、教育委員会指導課を通じて実施提案、今年度20校での実践体験実現
- ◎ 三重県内、他市町(津市・川越町)にも提案体験導入又は検討中の状況にある
- ◎ 2010年度実践事業、彦根工業高校と亀山小との相互交流が2月に実現しようとしている







防災土鍋

<おいしいごはんの炊き方>

- ①無洗米 4 合に約900ccの水を入れる
- ②30分程度水にひたして中火にかける
- ③ふた穴から湯気が出てきたら強火にする
- ④湯気が少なくなったら弱火にする
…ここまで約20分
- ⑤15分以上蒸らしたらできあがり







苦勞した点・工夫した点

- ◎学童期から災害に対する認識を持つとともに、災害に対する備えの必要性を体感することにより、防災対策寄与と将来を担うリーダー育成
- ◎各地域で防災訓練のメニューにも導入され、世代間交流の場の実現や地域コミュニティ形成に効果波及するよう配慮した
- ◎小グループ体験実現で、学習効果向上期待
- ◎実践体験による、危険・事故排除
- ◎学校関係者に安心して任せられるプラン提案

成果と課題（フラン全般）

- ◎ 小学校関係者の認識・意識が変わった、更に学校・父兄・地域との連携に貢献
- ◎ 子供たちの防災意識の向上に貢献（感想文より効果がよみとれる）
- ◎ 家庭・地域の防災力向上と、新しい環境作りに貢献
- ◎ 父兄や地域との一帯・共同事業として、年間行事に定着し育てることを課題とする

子供達への期待と活動の継続性

- ◎ 次世代リーダー育成、世代間交流・
地域コミュニティーの充実のためにも
継続を定着させたい。
- ◎ 総合学習の中で、防災のとりくみ・
備えの重要性からも、継続・定着プラン
となることを期待する。
- ◎ 学校との連携、学校を含めた地域との連携
を拡げ、重大災害を乗り越える地域力養成

日頃の備えが
大切だよネ!

はかせ
なまず博士



ご清聴ありがとうございました
共に頑張りましょう